



# 取扱説明書

---

シリアルパラレルカード  
(FMV-104)

# はじめに

このたびは、弊社のシリアルパラレルカード（FMV-104）（以降、本カード）をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

本カードをご使用になる前に本書をよくお読みになり、正しくご使用くださいますようお願いいたします。

また、ドライバーズディスク内のファイル（README.TXT）にも留意事項等の記載があります。本書と合わせてご覧ください。

2010年10月

## 安全にお使いいただくために

このマニュアルには、本製品を安全に正しくお使いいただくための重要な情報が記載されています。本製品をお使いになる前に、このマニュアルを熟読してください。特に、「安全上のご注意」をよくお読みになり、理解されたうえで本製品をお使いください。  
また、このマニュアルは、本製品の使用中にいつでもご覧になれるよう大切に保管してください。

## 保証書について

- ・保証書は、必ず必要事項を記入し、内容をよくお読みください。その後、大切に保管してください。
- ・修理を依頼するときには、必ず保証書をご用意ください。
- ・保証期間内に、正常な使用状態で故障した場合は、無料で修理いたします。
- ・保証期間内でも、保証書の提示がない場合や、天災あるいは無理な使用による故障の場合などには、有料での修理となります。ご注意ください。（詳しくは、保証書をご覧ください。）
- ・本製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）の保有期間は、製造終了後5年です。
- ・保証期間後に修理で機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料にて修理いたします。

## 本製品のハイセイフティ用途での使用について

本製品は、一般事務用、パーソナル用、家庭用、通常の産業用などの一般的用途を想定したものであり、ハイセイフティ用途での使用を想定して設計・製造されたものではありません。お客様は、当該ハイセイフティ用途に要する安全性を確保する措置を施すことなく、本製品を使用しないでください。

ハイセイフティ用途とは、以下の例のような、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途をいいます。

- ・原子力施設における核反応制御、航空機自動飛行制御、航空交通管制、大量輸送システムにおける運行制御、生命維持のための医療用機器、兵器システムにおけるミサイル発射制御など

## 有寿命部品について

- ・本製品に使用しているアルミ電解コンデンサは、有寿命部品です。有寿命部品は、使用時間の経過に伴って劣化などが進行し、動作が不安定になる場合がありますので、本製品をより長く安定してお使いいただくためには、一定の期間で交換が必要となります。
- ・有寿命部品の交換時期の目安は、使用頻度や使用環境などにより異なりますが、1日約8時間のご使用で約5年です。なお、この期間はあくまでも目安であり、この期間内に故障しないことをお約束するものではありません。また、長時間連続使用など、ご使用状態によっては、この目安の期間よりも早期に部品交換が必要となる場合があります。
- ・本製品に使用しているアルミ電解コンデンサは、寿命が尽きた状態で使用し続けると、電解液の漏れや枯渇が生じ、異臭の発生や発煙の原因となります場合がありますので、早期の交換をお勧めします。
- ・劣化などにより有寿命部品を交換する場合は、保証期間内であっても有料となります。なお、有寿命部品の交換は、当社の定める補修用性能部品単位での修理による交換となります。
- ・本製品をより長く安定してお使いいただくために、一定時間お使いにならない場合は電源をお切りください。

<主な有寿命部品>  
アルミ電解コンデンサ

この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的していますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

VCCI-B



本製品は国内での使用を前提に作られています。海外での使用につきましては、お客様の責任で行っていただくようお願いいたします。

#### **電源の瞬時低下について**

本製品は、落雷などによる電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。  
電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置などを使用されることをお勧めします。  
(社団法人電子情報技術産業協会のパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策ガイドラインに基づく表示)

## ■ 本文中の記号

本文中に記載されている記号には、次のような意味があります。

記号	意味
 <b>重要</b>	お使いになる際の注意点や、してはいけないことを記述しています。必ずお読みください。
 <b>POINT</b>	操作に関連することを記述しています。必要に応じてお読みください。
→	参照ページや参照マニュアルを示しています。

## ■ 製品の呼び方

本文中の製品名称を、次のように略して表記します。

製品名称	本文中の表記	
シリアルパラレルカード (FMV-104)	本カード	
Windows <sup>®</sup> 7 Enterprise	Windows 7	Windows
Windows <sup>®</sup> 7 Professional		
Windows <sup>®</sup> 7 Home Premium		
Windows Vista <sup>®</sup> Enterprise	Windows Vista	
Windows Vista <sup>®</sup> Business		
Windows Vista <sup>®</sup> Home Premium		
Windows Vista <sup>®</sup> Home Basic		
Windows <sup>®</sup> XP Professional	Windows XP	
Windows <sup>®</sup> XP Home Edition		

## ■ 商標および著作権について

Microsoft、Windows、Windows Vista、Windows 7 は、米国 Microsoft Corporation および / またはその関連会社の商標です。

Windows の正式名称は、Microsoft Windows Operating System です。

その他の各製品名は、各社の商標または登録商標です。

その他の各製品は、各社の著作物です。

本カード添付のドライバースディスク内のドキュメント及びドライバー関連のファイルの著作権は富士通株式会社にあります。

## ■ Windows OS のカタカナ表記について

Windows 7 以降、標準画面に表示されるカタカナ文字の長音表記が変更になっております。

Windows XP/Windows Vista で「フォルダ」「デバイスマネージャ」「プリンタ」等で表記している内容は、Windows 7 では「フォルダー」「デバイスマネージャー」「プリンター」等に変更されています。

本書では、OS の種類に依存しない内容に関して、Windows 7 の表記の「長音文字あり」で記述し、画面イメージを Windows 7 の物を使用しています。Windows XP および Windows Vista を使用の際には読み替えて解釈をお願いします。

Copyright FUJITSU LIMITED 2010

---

## 安全上のご注意

---

本製品を安全に正しくお使いいただくための重要な情報が記載されています。本製品をお使いになる前に、必ずお読みになり、正しく安全に、大切に取り扱いってください。電気製品は安全のために注意事項を守らないと、火災などにより死亡などの人身事故になることがあります。事故を防ぐため、次のことを必ずお守りください。

### ■安全のために注意事項をお守りください。

この「安全上のご注意」をよくお読みください。

### ■故障したら使用しないでください。

不具合が生じた場合は、そのままお使いにならずに販売店または弊社「富士通ハードウェア修理相談センター」にご相談ください。

<富士通ハードウェア修理相談センターお問い合わせ先>

フリーダイヤル：0120-422-297

受付時間：9：00～17：00

(土曜・日曜・祝日・年末年始を除く)

### ■安全にお使いいただくために

次の内容をよくご理解の上、正しく本カードを使用してください。

#### ⚠警告

- ・ 分解や改造はしないでください。  
本カードを分解したり、改造したりしないでください。故障や感電、火災などの原因となります。
- ・ 湿気、水濡れ、直射日光は避けてください。  
感電や火災を防止するため、本体を次のような場所には放置しないでください。
  - ・ 湿気やホコリの多い場所
  - ・ 雨水などに濡れやすい場所
  - ・ 車の中など直射日光のあたる場所

#### ⚠注意

- ・ 本カードを取り扱うときは、コネクタ一部に手を触れないでください。
- ・ 極端な低温、高温での使用は避けてください。
- ・ 強い衝撃を与えないでください。故障の原因となります。

# 目次

はじめに .....	1
安全上のご注意 .....	4
目次 .....	5
<b>1 ご使用になる前に</b> .....	6
内容物の確認 .....	6
<b>2 概要</b> .....	7
概要 .....	7
システム構成 .....	7
留意事項 .....	8
<b>3 ハードウェア</b> .....	9
本体仕様 .....	9
コネクタ仕様 .....	10
<b>4 装着方法</b> .....	11
装着上の注意事項 .....	11
ディップスイッチの設定 .....	11
<b>5 ドライバーのインストール</b> .....	13
Windows XP の場合 .....	13
Windows Vista の場合 .....	17
Windows 7 の場合 .....	21
<b>6 ポート番号の変更</b> .....	24
シリアルポートの COM ポート番号の変更 .....	24
パラレルポートの LPT ポート番号の変更 .....	26
<b>7 トラブルシューティング</b> .....	28

# 1 ご使用になる前に

---

## 内容物の確認

---

お使いになる前に、次のものが梱包されていることをお確かめください。  
万一不備がございましたら、おそれいりますが、お買い求めの販売店までお申しつけください。

内容物	数量
シリアルパラレルカード FMV-104	1 枚
ドライバズディスク (CD-ROM 本書格納)	1 枚
保証書	1 枚

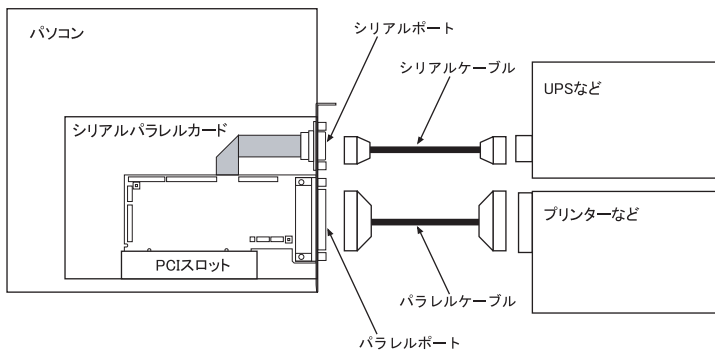
※ 周辺機器を接続するためのケーブルは、別途必要になります。

## 2 概要

### 概要

- ◆本カードは、PCIバスを搭載したパソコン用のオプションカードです。本カードは、次の外部インターフェースを持っています。
  - ・シリアルポート（RS-232C）× 1ポート
  - ・パラレルポート（セントロニクス準拠）× 1ポート
- ◆1つのパソコン内に、次の枚数まで本カードを搭載することが可能です。  
最大2枚

### システム構成



シリアルケーブル・パラレルケーブルは、接続対象機器に対応したものを使用してください。

### 重要

外部機器とケーブルを接続する時には、必ずパソコン本体および接続機器の電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてください。感電、故障の原因となることがあります。

---

## 留意事項

---

### 重要

以下の留意事項をよくお読みになり、本カードをご使用ください。

#### □ 仕様上の留意事項

- ・本カードのシリアルポートの最大転送レートは 115.2Kbps です。
- ・本カードの平行ポートは EPP/ECP モードをサポートしていません。

#### □ 省電力モード時の留意事項

シリアルまたは平行の通信中に、スタンバイ、休止状態に移行させて使用できません。通信中にスタンバイ、休止状態に移行させた場合の動作保証はしていませんのでご注意ください。

#### □ その他の留意事項

- ・他のシリアルポートまたは平行ポート搭載カードとの併用はしないでください。
- ・ドライバーインストール直後のシリアルポート番号と平行ポート番号は、Windows 標準ドライバーによって決定します。

カードが割り当てられたポート番号はドライバーインストール直後にデバイスマネージャーで確認してください。

※ポート番号の割り当てはデバイスマネージャーを使用して変更することができます。手順は「ポート番号の変更」(→ P.24) をご覧ください。

- ・ドライバーのアンインストールはできません。使用を停止する場合は、本カードをパソコンから取り外してください。
- ・本カードを 2 枚搭載する際、Windows 上では本カードに対応する平行ポートは 2 つ認識しますが、使用可能な本カードの平行ポートはどちらか 1 ポートのみとなります。

# 3 ハードウェア

## 本体仕様

品名	シリアルパラレルカード
型名	FMV-104
本体インタフェース	32ビットPCIバス (PCI Rev 2.3)
対応 OS 注1	<ul style="list-style-type: none"><li>・ Windows<sup>®</sup> 7 Enterprise</li><li>・ Windows<sup>®</sup> 7 Professional</li><li>・ Windows<sup>®</sup> 7 Home Premium</li><li>・ Windows Vista<sup>®</sup> Enterprise</li><li>・ Windows Vista<sup>®</sup> Business</li><li>・ Windows Vista<sup>®</sup> Home Premium</li><li>・ Windows Vista<sup>®</sup> Home Basic</li><li>・ Windows<sup>®</sup> XP Professional Service Pack 2 以降</li><li>・ Windows<sup>®</sup> XP Home Edition Service Pack 2 以降</li></ul>
搭載可能枚数注2	最大2枚
シリアルポート	<ul style="list-style-type: none"><li>・ RS232C (最大 115.2Kbps)</li><li>・ 1ポート</li><li>・ Dsub9 ピン (オス)</li></ul>
パラレルポート	<ul style="list-style-type: none"><li>・ セントロニクス準拠 (最大 150 ~ 200Kbyte/sec) 注3</li><li>・ 1ポート</li><li>・ データポート双方向可能 (bi-directional/Nibble モード対応)</li><li>・ Dsub25 ピン (メス)</li></ul>
消費電流	+5V : 0.5A 以下、+3.3V : 1.5A 以下
カード外形	約 120 × 55mm (突起部含まず)
温湿度条件	温度 10 ~ 35℃、湿度 20 ~ 80%RH (パソコン周囲)
質量	85g 以下
規格	VCCI クラス B、RoHS 指令準拠

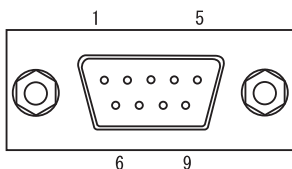
注1 : 対応 OS は、カードを搭載するパソコンがサポートする OS のみとなります。64bit 版 OS は未対応です。

注2 : 取り付けるパソコンの PCI の空スロット数が 1 つの場合、本カードの搭載可能枚数は 1 枚となります。

注3 : 外部接続機器により異なります。

# コネクタ仕様

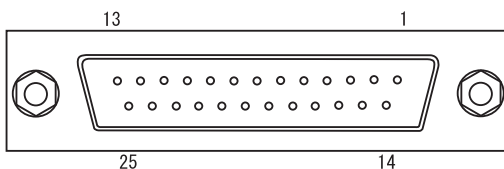
## ■ シリアルポートコネクタ



ピン番号	信号名	ピン番号	信号名
1	DCD	6	DSR
2	RD	7	RTS
3	TD	8	CTS
4	DTR	9	RI
5	SG		

※コネクタの図は本カードのコネクタを正面から見たものになります。

## ■ パラレルポートコネクタ



ピン番号	信号名	ピン番号	信号名
1	STROBE#	14	AUTO_FD_XT#
2	DATA0	15	ERROR#
3	DATA1	16	INIT#
4	DATA2	17	SLCTIN#
5	DATA3	18	SG
6	DATA4	19	SG
7	DATA5	20	SG
8	DATA6	21	SG
9	DATA7	22	SG
10	ACK#	23	SG
11	BUSY	24	SG
12	PE	25	SG
13	SLCT		

※コネクタの図は本カードのコネクタを正面から見たものになります。

# 4 装着方法

## 装着上の注意事項

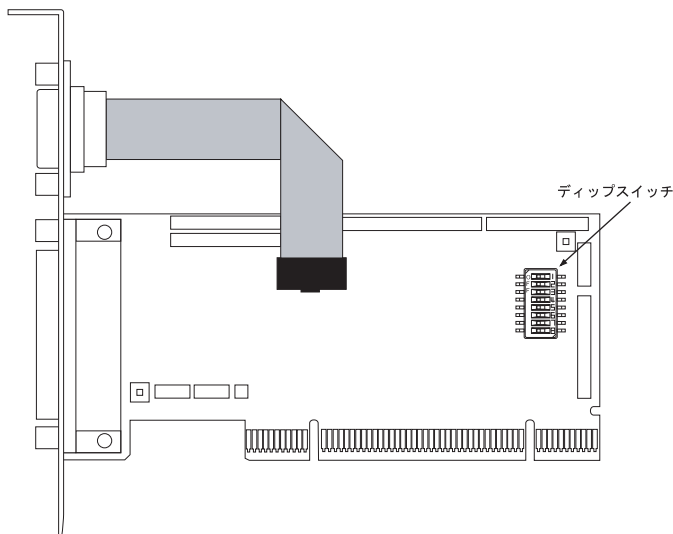
本カードを装着するときには、次のことに注意してください。

- ◆本カード上にあるディップスイッチを設定し、確認してからカードを装着してください。
- ◆本カードは PCI バス用のカードです。パソコンの PCI オプションカード用スロットに装着してください。

(装着方法はパソコンに付属のマニュアルを参照してください)。

## ディップスイッチの設定

本カードを装着する前に、カード上にあるディップスイッチを設定します。

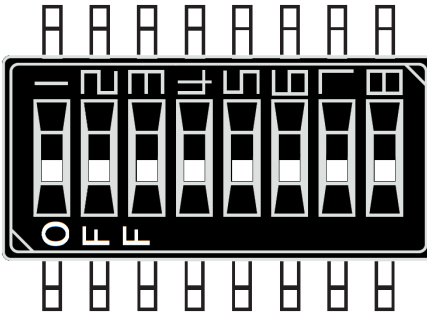


### 重要

カードの装着およびディップスイッチの設定変更を行うときは、必ずパソコン本体の電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてください。感電、故障の原因となることがあります。

### POINT

カード上の部品は、静電気で破損することがあります。装着時など、カードに触れる場合には、金属製のものに触れるなど静電気を放電してからおこなってください。



ディップスイッチ拡大図

◆ SW1、2、3

未使用 SW

出荷時設定は全て OFF

◆ SW4

パラレルポートコントロールレジスタの DIR SW 使用の設定

機能	SW4	備考
パラレルポートの DIR SW サポート：しない 出力専用のパラレルポートとして使用できます。	OFF	出荷時設定
パラレルポートの DIR SW サポート：する 双方向のパラレルポートとして使用できます。	ON	

**POINT**

- ▶ 双方向パラレルポートのサポートは、パソコン本体の BIOS の設定に依存します。BIOS 設定でパラレルポートのモードが「出力のみ (Output only)」の場合は OFF としてください。モードが「双方向 (Bi-directional)」の場合は ON としてください。モードの呼び方や設定内容は機種により異なる場合がありますので、パソコンに付属のマニュアルを参照してください。
- ▶ また、本カードは EPP、ECP モードをサポートしておりません。パソコン本体の BIOS 設定で内蔵のパラレルポートのモードが、「EPP」もしくは「ECP」の場合は、「出力のみ (Output only)」か双方向 (Bi-directional)」としてください。パソコン本体のパラレルポートを EPP、ECP モードでご使用中の場合には、本カードとの同時使用はできません。

◆ SW5

予約 SW

必ず OFF に設定してください。

出荷時設定は OFF

◆ SW6、7、8

未使用 SW

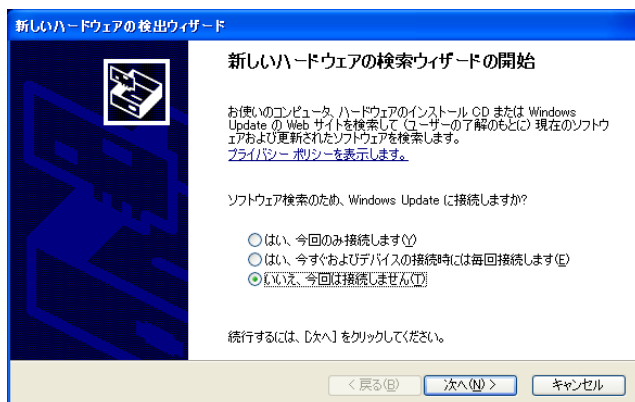
出荷時設定は全て OFF

# 5 ドライバーのインストール

## Windows XP の場合

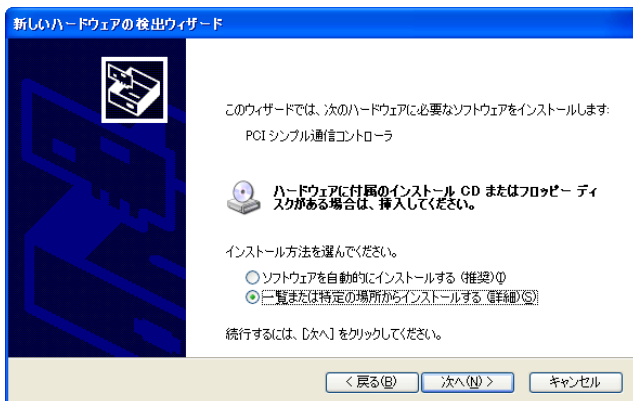
### ■ ドライバーのインストール

- 1 パソコン（電源 OFF 状態）の PCI スロットに本カードをセットし、本体のカバーを取り付けてから電源を入れます。
- 2 Administrator 権限を持つユーザーでログインします。  
プラグアンドプレイによって本カードが検出され、次の画面が表示されます。

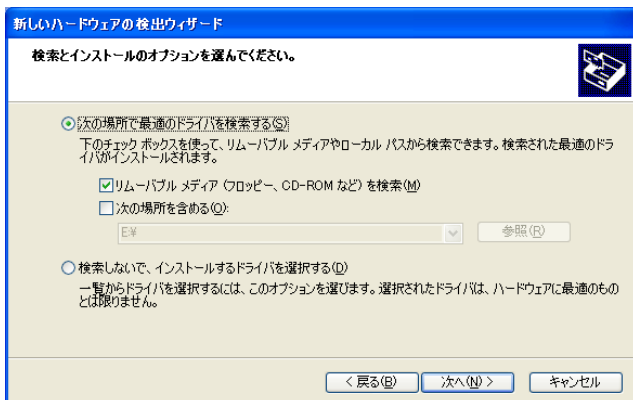


- 3 「いいえ、今回は接続しません」を選択し、「次へ」をクリックします。  
この時点でドライバディスクをパソコンにセットしておきます。  
CD/DVD ドライブが搭載されていないパソコンをお使いの場合は、外付けのCD/DVD ドライブを用意してセットしてください。

- 4 「一覧または特定の場所からインストールする（詳細）」を選択し、「次へ」をクリックします。

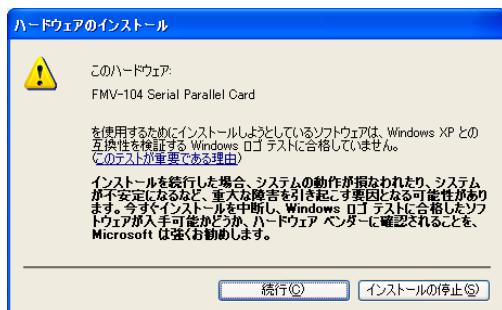


- 5 「次の場所で最適のドライバを検索する」を選択し、「リムーバブル メディア（フロッピー、CD-ROM など）を検索」にチェックがあることを確認して、「次へ」をクリックします。



インストールが実行されます。

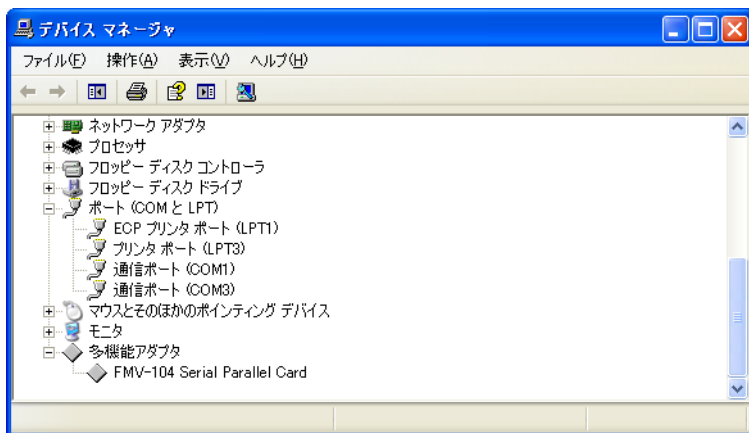
## 6 「続行」をクリックします。



## 7 インストールが完了すると、「新しいハードウェアの検索ウィザードの完了」画面が表示されるので、「完了」をクリックして終了します。

### ■ インストールの確認方法

「コントロールパネル」より「デバイスマネージャ」を起動し、デバイス一覧を確認します。正常にインストールが完了した場合、プリンタポートと、通信ポートが追加され、本カードが「多機能アダプタ」として登録されます。



この画面の場合、パソコン本体標準の COM1、LPT1 に加え、COM3、LPT3 が追加されたので本カードのシリアルポートは COM3、パラレルポートは LPT3 となります。

## ■ インストール時の留意事項

- ドライバースディスクをセットせずに「完了」ボタンをクリックすると、カードが「その他のデバイス」として登録され、ドライバーがインストールされません（再起動してもカードが認識されずインストールができません）。  
このような場合は、次の手順に従って、ドライバーをインストールし直してください。
  1. 「コントロールパネル」より「デバイスマネージャ」を起動します。
  2. デバイスの一覧から「その他のデバイス」にある「PCI シンプル通信コントローラ」を右クリックし、表示されるメニューから「ドライバの更新」をクリックします。
  3. 「ドライバーのインストール」（→ P.13）の手順をご覧になり、ドライバーをインストールします。
  
- 本カードを 1 枚セットアップした状態で OS 起動時、イベントログに **Windows 標準の仮想パラレルポートドライバー (parvdm) よりエラーメッセージが表示されることがあります。**  
本エラーについては「トラブルシューティング」（→ P.28）をご参照ください。
  
- ドライバースインストール後の LPT ポート番号が、既存の LPT ポート番号と重複する場合があります。  
LPT ポート番号が重複している状態では正常な動作ができませんので、ポート番号を変更してください。ポート番号を変更する手順は「ポート番号の変更」（→ P.24）をご覧ください。

## ■ 複数枚搭載の際のセットアップについて

本カードをパソコンに複数枚搭載する場合は、以下の手順を行ってください。

- 1** パソコンに本カードを 1 枚セットし、「ドライバーのインストール」（→ P.13）の手順に従ってセットアップします。
- 2** パソコンの電源を切り、2 枚目の本カードをセットして、パソコンの電源を入れます。
- 3** 「新しいハードウェアの検索ウィザード」の画面が表示されるので、「ドライバーのインストール」（→ P.13）の手順をもう一度実行してください。

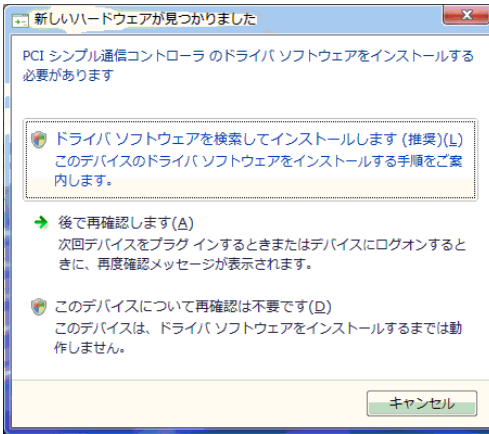
# Windows Vista の場合

## ■ ドライバーのインストール

**1** パソコン（電源 OFF 状態）の PCI スロットに本カードをセットし、本体のカバーを取り付けてから電源を入れます。

**2** 管理者アカウントでログインします。

プラグアンドプレイによって本カードが検出され、次の画面が表示されます。



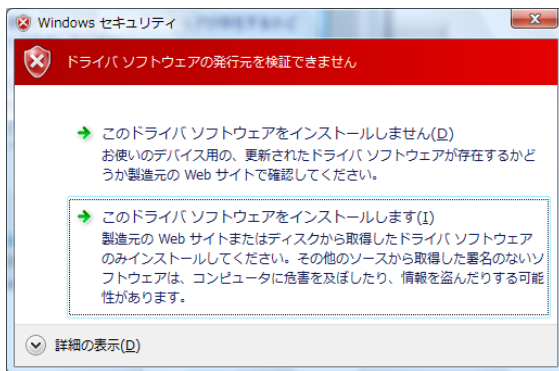
**3** 「ドライバソフトウェアを検索してインストールします (推奨)」をクリックします。

「ユーザーアカウント制御」ウィンドウが表示された場合は、「はい」または「続行」をクリックします。

**4** 「PCI シンプル通信コントローラに付属のディスクを挿入してください」というメッセージが表示されたら、ドライバズディスクをパソコンのドライブにセットします。

CD/DVD ドライブが搭載されていないパソコンをお使いの場合は、外付けの CD/DVD ドライブを用意してセットしてください。

## 5 「このドライバソフトウェアをインストールします」をクリックします。



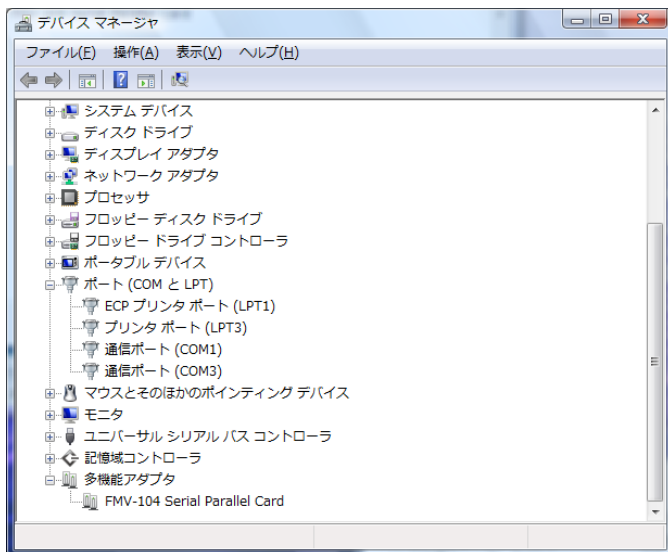
## 6 「このデバイス用のソフトウェアは正常にインストールされました。」というメッセージが表示されたら、「閉じる」をクリックします。

インストール完了です。

### ■ インストールの確認方法

「コントロールパネル」より「デバイス マネージャ」を起動します。

正常にインストールが完了した場合、プリンタポート、通信ポートが追加され、本カードが「多機能アダプタ」として登録されます。



この画面の場合、パソコン本体標準の COM1、LPT1 に加え、COM3、LPT3 が追加されたので本カードのシリアルポートは COM3、パラレルポートは LPT3 となります。

## ■ インストール時の注意事項

- ドライバーインストール中に「キャンセル」をクリックすると、カードが「ほかのデバイス」と登録され、ドライバーがインストールされません（再起動してもカードが認識されずインストールができません）。

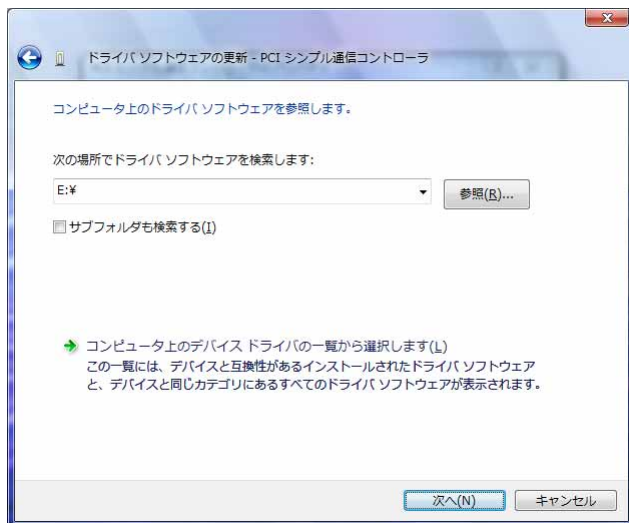
このような場合は、次の手順に従って、ドライバーをインストールし直してください。

1. 「コントロールパネル」より「デバイスマネージャ」を起動します。
2. デバイスの一覧から「ほかのデバイス」にある「PCI シンプル通信コントローラ」を右クリックし、表示されるメニューから「ドライバソフトウェアの更新」をクリックします。

「ドライバソフトウェア更新」画面が表示されるので、「自動的に更新されたドライバソフトウェアを検索します」を選択します。

「コンピュータ上のドライバソフトウェアを参照します。」画面が表示されます。

3. ドライバーズディスクをパソコンにセットし、ドライバーズディスクのトップフォルダーを指定して、「次へ」をクリックします。



4. 「ドライバソフトウェアの発行元が検証できません」というメッセージが表示されるので、「このドライバソフトウェアをインストールします」をクリックします。
5. 「このデバイス用のソフトウェアは正常にインストールされました。」というメッセージが表示されたら、「閉じる」をクリックします。  
インストール完了です。

- 本カードを1枚セットアップした状態でOS起動時、イベントログにWindows標準の仮想パラレルポートドライバー（parvdm）よりエラーメッセージが表示されることがあります。

本エラーについては「トラブルシューティング」（→P.28）をご参照ください。

- **ドライバーインストール後の LPT ポート番号が、既存の LPT ポート番号と重複する場合があります。**

LPT ポート番号が重複している状態では正常な動作ができませんので、ポート番号を変更してください。ポート番号を変更する手順は「ポート番号の変更」(→ P.24)をご覧ください。

## ■ 複数枚搭載の際のセットアップについて

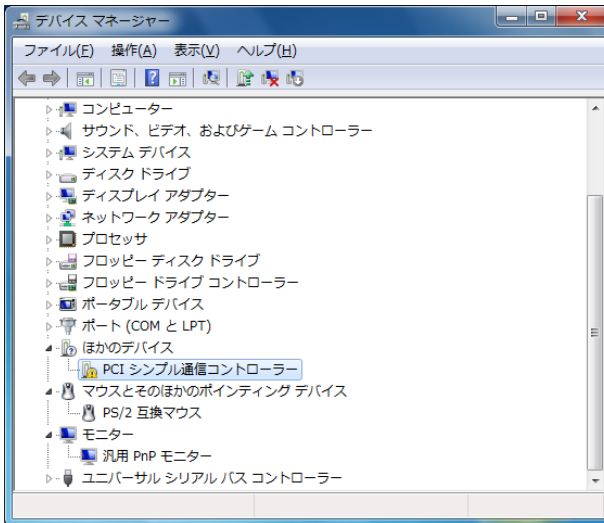
本カードをパソコンに複数枚搭載する場合は、以下の手順を行ってください。

- 1** パソコンに本カードを **1** 枚セットし、「ドライバーのインストール」(→ P.17) の手順に従ってセットアップします。
- 2** パソコンの電源を切り、**2** 枚目の本カードをセットして、パソコンの電源を入れます。  
自動的に 2 枚目の本カードのシリアルポート、パラレルポートを認識し、使用可能になります。

# Windows 7 の場合

## ■ ドライバーのインストール

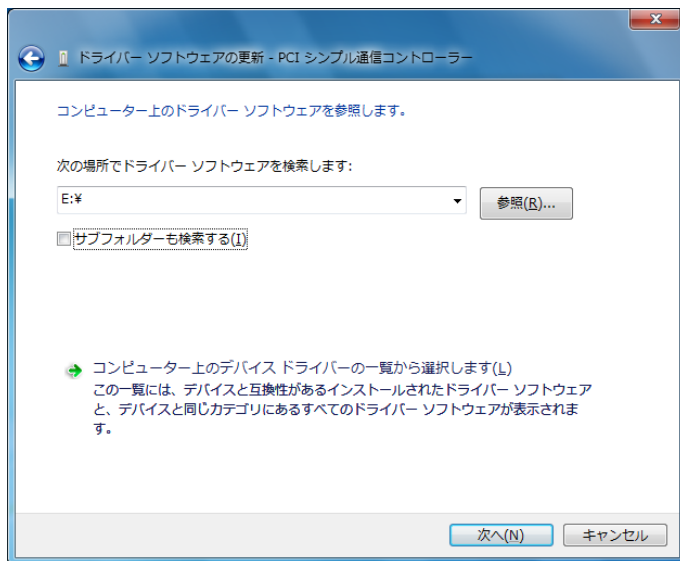
- 1 パソコン（電源 OFF 状態）の PCI スロットに本カードをセットし、本体のカバーを取り付けてから電源を入れます。
- 2 管理者アカウントでログインします。
- 3 「コントロールパネル」から「デバイスマネージャー」を起動し、「ほかのデバイス」のカテゴリー内に、「！」マークが付いた状態の、「PCI シンプル通信コントローラー」が検出されていることを確認します。



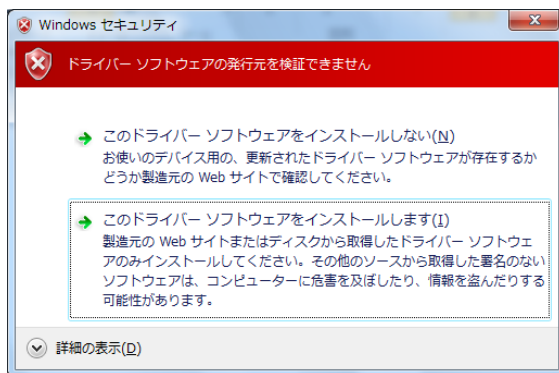
- 4 「PCI シンプル通信コントローラー」を右クリックし、表示されるメニューから「ドライバーソフトウェアの更新」をクリックします。
- 5 「どのような方法でドライバーソフトウェアを検索しますか?」というメッセージが表示されたら「コンピューターを参照してドライバーソフトウェアを検索します」をクリックします。

## 6 ドライバースoftwareをパソコンにセットし、ドライバースoftwareのトップフォルダーを指定して、「次へ」をクリックします。

CD/DVDドライブが搭載されていないパソコンをお使いの場合は、外付けのCD/DVDドライブを用意してセットしてください。



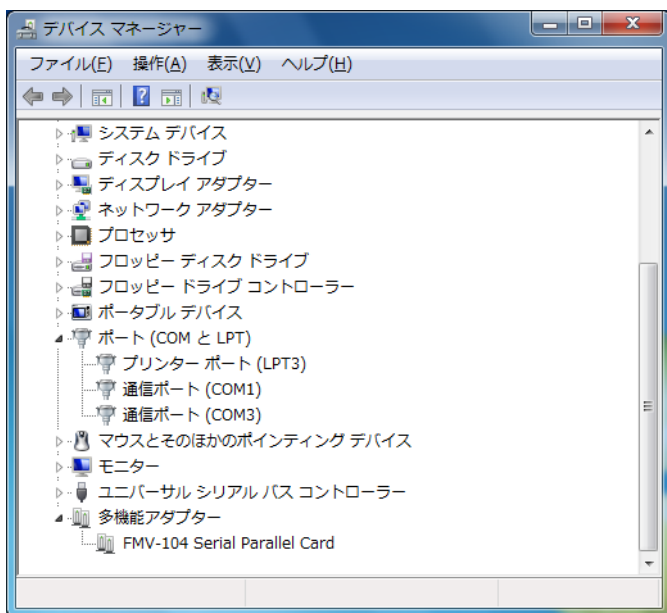
## 7 「このドライバー ソフトウェアをインストールします」をクリックします。



## 8 「ドライバーソフトウェアが正常に更新されました。」というメッセージが表示されたら、「閉じる」をクリックします。 インストール完了です。

## ■ インストールの確認方法

「コントロールパネル」より「デバイス マネージャ」を起動します。  
正常にインストールが完了した場合、プリンタポート、通信ポートが追加され、本カードが多機能アダプタとして登録されます。



この画面の場合、パソコン本体標準の COM1 に加え、COM3、LPT3 が追加されたので本カードのシリアルポートは COM3、パラレルポートは LPT3 となります。

## ■ インストール時の留意事項

- **本カードを 1 枚セットアップした状態で OS 起動時、イベントログに Windows 標準の仮想パラレルポートドライバ (parvdm) よりエラーメッセージが表示されることがあります。**

本エラーについては「トラブルシューティング」(→ P.28) をご参照ください。

## ■ 複数枚搭載の際のセットアップについて

本カードをパソコンに複数枚搭載する場合は、以下の手順を行ってください。

- 1** パソコンに本カードを 1 枚セットし、「ドライバーのインストール」(→ P.21) の手順に従ってセットアップします。
- 2** パソコンの電源を切り、2 枚目の本カードをセットして、パソコンの電源を入れます。  
自動的に 2 枚目の本カードのシリアルポート、パラレルポートを認識し、使用可能になります。

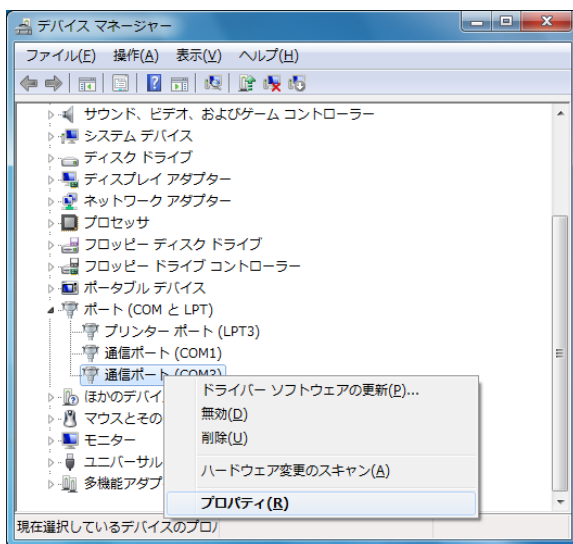
# 6 ポート番号の変更

## シリアルポートの COM ポート番号の変更

### ■ Windows XP/Vista/7 共通

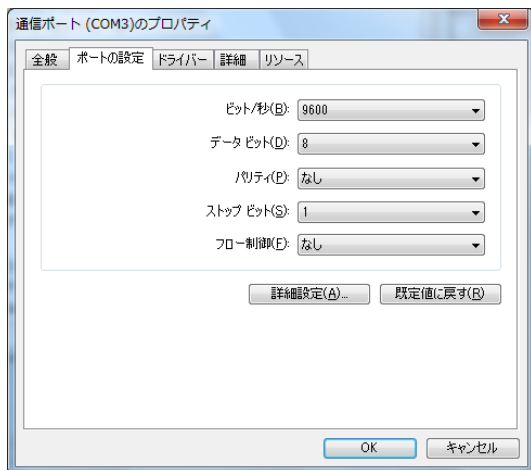
(画面は Windows 7 の例となっています。)

- 1 「コントロールパネル」より「デバイスマネージャー」を起動します。
- 2 「デバイスマネージャー」の「ポート」内にある、本カードの「通信ポート」を選択し、右クリックで表示されるメニューの「プロパティ」をクリックします。

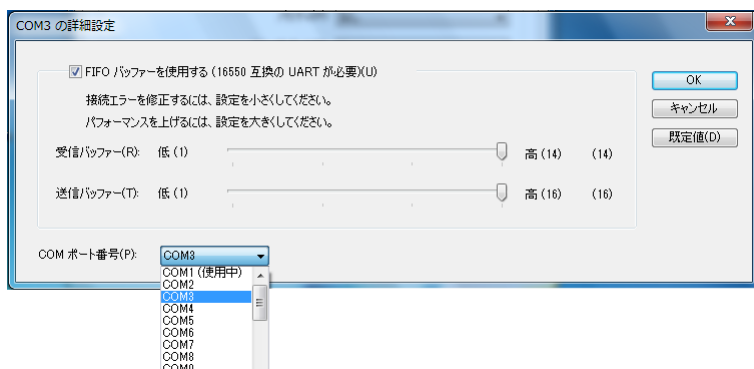


「通信ポートのプロパティ」画面が表示されます。

- 3 「通信ポートのプロパティ」画面の「ポート設定」のタブをクリックし、「詳細設定」をクリックします。



- 4 「詳細設定」画面で変更したい COM ポート番号をドロップダウンリストから選択し、「OK」をクリックします。



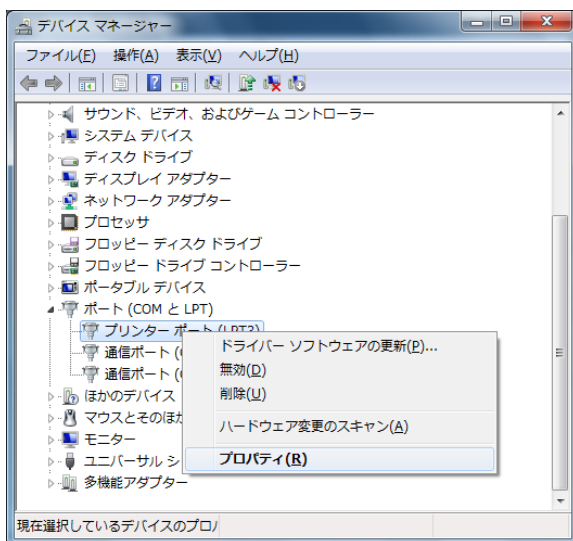
- 5 「通信ポートのプロパティ」画面で「OK」をクリックし、設定を終了します。

# パラレルポートの LPT ポート番号の変更

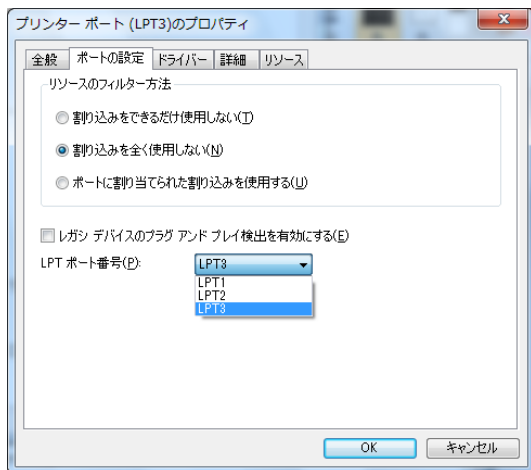
## ■ Windows XP/Vista/7 共通

(画面は Windows 7 の例となっています。)

- 1 「コントロールパネル」より「デバイスマネージャー」を起動します。
- 2 「デバイスマネージャー」の「ポート」内にある、本カードの「プリンターポート」を選択し、右クリックで表示されるメニューの「プロパティ」をクリックします。



- 3 「プリンタポートのプロパティ」画面の「ポート設定」のタブをクリックし、変更したい LPT ポート番号をドロップダウンリストから選択し、「OK」をクリックします。



- 4 「プリンタポートのプロパティ」で「OK」をクリックして設定を終了します。

#### POINT

LPT ポート番号の変更した場合、OS 起動時にイベントログに Windows 標準の仮想パラレルポートドライバ (parvdm) よりエラーメッセージが表示されることがあります。parvdm のエラー発生が運用上問題ある場合は、エラーメッセージが表示されない LPT ポート番号に変更して使用してください。

# 7 トラブルシューティング

## ■ 起動時にイベントログにエラーメッセージが記録される。

パラレルポートの LPT ポート番号の割り付けによってイベントログに「ポート オブジェクトに対するデバイス オブジェクト ポインターを取得できません。」というメッセージが記録されることがあります。

このエラーメッセージが表示された場合、16bit アプリケーション実行環境の仮想 DOS マシンからパラレルポートにアクセスする場合に、動作しない可能性があります。

Windows アプリケーションからプリンター印刷等の通常使用では問題ありません。

このエラーメッセージが記録されないようにするには、デバイスマネージャーを使用して、LPT ポート番号を使用していない別の番号に変更してください。

LPT ポート番号の変更については「パラレルポートの LPT ポート番号の変更」(→ P.26) をご覧ください。

## □ LPT ポート番号変更例

1. LPT1、LPT2 が使用されていない状態で、本カードの LPT ポート番号が LPT3 に割り付けられていて、エラーが記録される場合、LPT1 に本カードの LPT 番号を変更
2. LPT1 が使用中、LPT2 が使用されていない状態で、本カードの LPT ポート番号が LPT3 に割り付けられていて、エラーが記録される場合、LPT2 に本カードの LPT 番号を変更
3. LPT1 が使用中、LPT3 が使用されていない状態で、本カードの LPT ポート番号が LPT2 に割り付けられていて、エラーが記録される場合、LPT3 に本カードの LPT 番号を変更

---

**シリアルパラレルカード (FMV-104)  
取扱説明書**

B6FY-0401-01 Z0-00

**発行日** 2010年10月  
**発行責任** 富士通株式会社

---

- 本書の内容は、改善のため事前連絡なしに変更することがあります。
- 本書に記載されたデータの使用に起因する第三者の特許権およびその他の権利の侵害については、当社はその責を負いません。
- 無断転載を禁じます。